|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象教科・科目 | 単位数 | 学年・学級 |
| 数学Ⅰ | ３ | 第１学年 |

１　学習の到達目標等

|  |  |
| --- | --- |
| 学習の到達目標 | １．中学校までに学習してきた内容を継承して，（１）数と式　（２）集合と命題　（３）２次関数　（４）図形と計量（５）データの分析について理解します。２．１の内容について，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらの知識や技能を的確に活用する能力を伸ばすとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。 |
| 使用教科書・副教材等 | 啓林館「新編数学Ⅰ」，傍用問題集，参考書 |

２　学習計画及び評価方法等

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学期 | 学　習　内　容 | 月 | 学　習　の　ね　ら　い | 備 考 | 考査範囲 |
| 第１学期 | オリエンテーション | 45 | 「数学Ⅰ」の学習の意義や内容と学習方法，評価の方法を理解します。 |  | 第１学期中間考査 |
| 第１章　数と式第１節　整式1　整式とその加減2　整式の乗法math探　展開を図形で考える3　因数分解確認問題 | 中学校から学んできた文字式について確認し，整式の整理の方法，整式の加法・減法について理解します。指数法則と分配法則にもとづいて整式の乗法を学習し，より効率よく整式を展開するために公式を利用することを理解します。整式を２つ以上の整式の積の形にすること（因数分解）を学習します。共通因数をくくりだすことから始め，公式を使って，式の因数分解をする方法を理解します。また，複数の文字を含んだ整式の因数分解を理解します。 |  |
| 第２節　実数1　実数2　平方根math探　平方根のおよその値確認問題 | 数の範囲を整数，有理数，実数へと拡張し，無理数，実数の意味とその性質を理解します。絶対値の定義や性質について理解します。平方根の意味やその計算，分母に根号がある式を分母に根号がない形にする方法（有理化）を理解します。 |
| 第３節　1次不等式1　1次不等式math探　絶対値を含む方程式・不等式確認問題章末問題 | 67 | 数量の大小関係を不等式に表せるようにし，不等式の性質や不等式の解の意味を理解します。１次不等式の解法を理解し，それを利用して，身近な事象について考察します。 |  | 第１学期期末考査 |
| 第２章　集合と命題第１節　集合と命題1　集合2　命題と集合3　論証math探　日常の論理math探　$\sqrt{2}$が無理数であることの証明確認問題章末問題 | 集合に関する基本的な用語・記号を理解します。２つの集合の共通部分・和集合，補集合を理解します。また，集合の要素の個数について，その表し方や集合の間に成り立つ関係式を理解し，集合の要素の個数を求められるようにします。命題，必要条件，十分条件および逆・対偶などについて理解します。また，対偶を利用した証明や背理法による証明を行います。 |
|  | 【課題・提出物等】１　授業の中で配布する演習プリント（５枚程度）２　中間考査及び期末考査の範囲内の授業ノート（２回）３　中間考査及び期末考査の範囲内の副教材演習ノート（２回）４　節末問題・章末問題の中から指定された問題を解いたレポート（２回） |
|  | 【第１学期の評価方法】中間考査と期末考査の成績，小テスト，プリント，授業ノート，演習ノート，レポートなどの提出物の内容，学習活動への参加の仕方や態度などで総合的に評価します。 |

| 学期 | 学　習　内　容 | 月 | 学　習　の　ね　ら　い | 備 考 | 考査範囲 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第２学期 | 第３章　２次関数第１節　関数とグラフ1　関数2　2次関数のグラフmath探　2次関数の係数とグラフの関係3　2次関数の決定確認問題 | 910 | 中学校で学習した関数や１次関数について確認し，身のまわりにある関数を考え，関数の意味を理解します。座標平面や関数のグラフについて理解します。表により，に対するの値を確認し，それをもとに座標平面上に点をプロットすることにより２次関数のグラフの基本形を理解します。２次関数について，平行移動の考え方をもとにグラフの書き方と特徴を理解します。２次関数の一般形から標準形に平方完成することを学習し，グラフがかけるようにします。与えられた条件を満たす２次関数を求める考え方を理解します。 |  | 第２学期中間考査 |
| 第２節　2次関数の最大・最小1　2次関数の最大・最小確認問題math探　2次関数の規則 | ２次関数の定義域に制限がある場合の最大値・最小値を求める方法を理解します。２次関数の最大・最小を応用して解決できる身近な問題を考察します。２次関数の変化の様子を，グラフを利用して理解し，最大値・最小値を求めることを学習します。 |  |
| 第３節　2次関数と方程式・不等式1　2次方程式2　2次関数のグラフと*x*軸との共有点math探（発展）放物線と直線との共有点3　2次不等式とその解math探　自動車の停止距離確認問題章末問題 | 実数に関する性質「AB=0ならば A=0 または B=0」を理解し，因数分解による２次方程式の解法を学習します。実数解を持つ２次方程式を，解の公式を用いて解くことを学習します。２次方程式の実数解の個数と判別式D＝b2-4ac の符号の関係について理解します。２次関数のグラフと２次不等式の解の関係を理解し，２次関数のグラフを利用して，２次不等式の解を求められるようにします。 |  |
| 第２学期 | 第３章　図形と計量第１節　鋭角の三角比1　三角比の値2　三角比の相互関係確認問題 | 1112 | 直角三角形における三角比の意味を理解します。三角比の表の使い方を理解します。三角比を利用した基本的な計量について理解します。三角比の間にどのような関係が成り立つかを理解し，その関係を利用して三角比の値を求められるようにします。 |  | ２学期期末考査 |
| 第２節　鈍角の三角比1　0°≦θ≦180°の三角比2　三角比の相互関係確認問題math探　直線の傾きと正接 | 座標を用いて三角比を定義し，角の範囲を０°から180°までに広げて三角比を考えられるようにする。単位円を利用して，三角比の値を求めたり，三角比の値から角の大きさを求めたりできるようにします。鈍角の三角比と鋭角の三角比の関係を理解します。鈍角の三角比についても鋭角の場合と同様の関係が成り立つことを理解します。 |  |
|  | 【課題・提出物等】１　授業の中で配布する演習プリント（５枚程度）２　中間考査及び期末考査の範囲内の授業ノート（２回）３　中間考査及び期末考査の範囲内の副教材演習ノート（２回）４　節末問題・章末問題の中から指定された問題を解いたレポート（２回） |
|  | 【第2学期の評価方法】中間考査と期末考査の成績，小テスト，プリント，授業ノート，演習ノート，レポートなどの提出物の内容，学習活動への参加の仕方や態度などで総合的に評価します。 |

| 学期 | 学　習　内　容 | 月 | 学　習　の　ね　ら　い | 備 考 | 考査範囲 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第３学期 | 第３節　図形の計量1　正弦定理math探　Aが直角，鈍角のときの三角形と外接円の関係2　余弦定理math探　Aが鈍角のときの余弦定理3　図形の計量確認問題 | 1 | 三角形において，3辺の長さと３つの角の大きさとの間に成り立つ基本的な関係（正弦定理と余弦定理）を理解し，それらを利用して，未知である辺の長さや角の大きさを求めることができるようにします。三角比を利用して，三角形の面積を求める方法を理解します。多角形や空間図形（立体）について，その中に含まれる三角形に着目し，三角比を利用することにより，面積や体積を求めることができることを理解します。 |  | 学年末末考査 |
| 第３学期 | 第５章　データの分析第１節　データの整理と分析1　度数分布表とヒストグラム2　データにおける代表値3　5数要約と箱ひげ図4　分散と標準偏差math探　変量の変換math探　偏差値確認問題 | 23 | データに関する基本的な用語・記号を理解します。データを度数分布表やヒストグラムで表すことにより，データの傾向をとらえることができるようにします。 |  | 学年末末考査 |
| 第２節　データの相関1　データの相関2　相関係数math探　表計算ソフト確認問題 | ２つのデータを散布図に表し，２つのデータの相関関係の有無を判断することができるようにします。 |
| 第３節　統計的な見方1　統計的探究プロセス2　仮説検定の考え方 | PPDACサイクルや仮説検定の考え方を学び，日常・社会の事象の課題を，これらを用いて考えたり，判断したりできるようにします。 |
|  | 【課題・提出物等】１　授業の中で配布する演習プリント（５枚程度）２　中間考査及び期末考査の範囲内の授業ノート（２回）３　中間考査及び期末考査の範囲内の副教材演習ノート（２回）４　節末問題・章末問題の中から指定された問題を解いたレポート（２回） |
|  | 【第3学期の評価方法】中間考査と期末考査の成績，小テスト，プリント，授業ノート，演習ノート，レポートなどの提出物の内容，学習活動への参加の仕方や態度などで総合的に評価します。 |
| 【年間の学習状況の評価方法】下記の３つの観点から評価した１学期，２学期及び３学期の成績の成績を総合し，年間の成績とします。 |

３　評価の観点，内容及び評価方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 評価の観点及び内容 | 評価方法 |
| 知識及び技能 | 数と式，集合と命題，２次関数，図形と計量，データの分析における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけているかどうか。また，事象を数学的に考察し，表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決できるかどうか。 | ・定期考査・小テスト・授業中に使用する演習プリント・質問に対する発表の内容・演習ノート，レポート |
| 思考力，判断力，表現力等 | 数学的な活動を通して，数と式，集合と命題，２次関数，図形と計量，データの分析における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的にとらえ，論理的に考えるとともに，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えているかどうか｡ | ・定期考査における応用問題（文章問題）の解答・授業中に使用するプリント・質問に対する発表の内容・演習ノート，レポート |
| 学びに向かう力，人間性等 | 数学的な活動を通して，数と式，集合と命題，２次関数，図形と計量，データの分析における考え方に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしているかどうか｡ | ・学習活動への参加の仕方や態度・授業中に使用する演習プリント・授業のノートのまとめ・演習ノート |

４　アドバイス等

|  |  |
| --- | --- |
| 確かな学力を身につけるためのアドバイス | ・多くの公式や定理がでてきます。それらを覚えることは必要ですが，暗記だけに終わらせるのではなく，なぜその公式が成り立つのか，どんな問題でどの公式・定理をどのように使うのかを理解することが必要です。・積極的に授業に参加し，先生の説明の要点はメモにとり，わからないことはどんな些細なことでも必ず質問するなどそのままにしておかないことが大切です。・日々の積み重ねが大切です。自宅における予習・復習などの時間を確立しましょう。 |
| 授業を受けるにあたって守ってほしい事項 | ・ノートは，板書を単に写すだけでなく，例題の解法等において，考え方や手順，そこで必要な公式等の確認事項などが十分に理解できるように作成することが大切です。教科書に書いてあることと同じことを書く必要はありません。・例題を参考に積極的に練習問題等に取り組み，繰り返しのなかで理解を深めることが大切です。・授業の開始のチャイムが鳴るまでに，教科書・ノート・筆記用具を準備して各自着席を完了し，授業がすぐ始められるようにしてください。（チャイムは着席して聞く）・欠席をした場合は，その授業について十分に学習し，理解しておくことが大切です。 |
| その他 | 「わかる」授業を心がけますので，皆さんも「むずかしい」「苦手」と決めつけないで，積極的に授業に参加してください。わからことをそのままにせず，どんどん質問してほしいと思います。 |